

実際に回収ボックスを利用してみました！



○ 回収できるもの（植物性油）

- ・サラダ油
- ・ひまわり油
- ・ごま油
- ・米油
- ・なたね油
- ・オリーブオイル など

✕ 回収できないもの（植物性油以外）

- ・ドレッシング
- ・ラード
- ・ラー油
- ・バター
- ・マヨネーズ
- ・灯油 など

回収ボックスの場所はこちら！



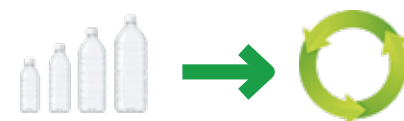
廃食油回収 Q & A

Q1. 未開封の油はそのまま持っていいの？

A. 未開封であれば、そのまま回収可能です。封を切っているものは漏れる可能性があるため、ペットボトルに移してお持ちください。

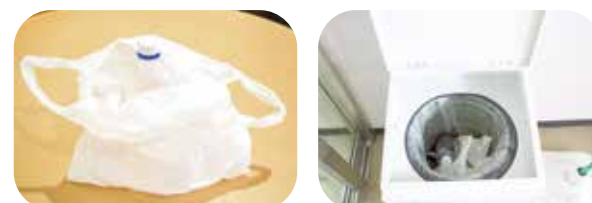
Q2. ペットボトルの大きさは？

A. 大きさはどんなものでも大丈夫です。ペットボトルもそのままりサイクルされます。



Q3. 袋に入れたままボックスに入れてもいいの？

A. 袋ごとで問題ありません。



編集後記

家で行き場をなくしていた使用済み油を、取材を機に回収ボックスに持っていき、よかったです！ペットボトルに入れるだけなのでとても簡単でした。私たちの天ぷら油が空を飛んでどこへいくのかな～。地球に優しい取り組み、みんなで応援していきましょう！



天ぷら油で、飛行機を飛ばそう！

台所で出た天ぷら油、どうしていますか？実はその油、猪名川町で今年6月から回収しています。回収した油は、持続可能な航空燃料「SAF」に生まれ変わるんです。SAFとは「Sustainable Aviation Fuel（持続可能な航空燃料）」の略で、廃食用油などを原料につくられる、環境に優しい航空燃料のこと。「捨てるはずだった天ぷら油が、飛行機を飛ばす燃料になる」そう聞くと、ちょっと意外で、わくわくしませんか？

▶問合せ 農業環境課（☎766-8709）



町では今年6月から、家庭で使った天ぷら油などの廃食用油を回収し、次世代の航空燃料「SAF」にリサイクルする取り組みがスタートしました。この取り組みは猪名川町、植田油脂株式会社、ENEOS株式会社の3者が連携協定を結んで実現した事業です。実は、飲食店などから出る油はリサイクルが進んでいる一方、家庭から出る廃食用油の9割は、そのまま捨てられているのが現状です。「もったいないけど、どうしたらいいかわからない」という声も多いのではないのでしょうか。

だからこそ町が目指すのは、簡単にできるリサイクルの仕組みづくりです。使い終わった油を冷ましてペットボトルに入れたら、回収ボックスに持ち込むだけ。それだけで、ご家庭の油が資源に生まれ変わります。

町内で集まった油は植田油脂株式会社により精製され、当面はバイオディーゼル燃料や石鹸にリサイクルされます。そして、将来的には現在計画が進められている ENEOS 株式会社の工場へ SAF へとリサイクルされる予定です。いつもの油を捨てずにひと手間かけるだけで、ゴミが減るだけでなく、飛行機を飛ばすことができるーそんな夢あるチャレンジを、一緒に始めてみませんか？

廃食用油がリサイクルされるまでの流れ（イメージ）

